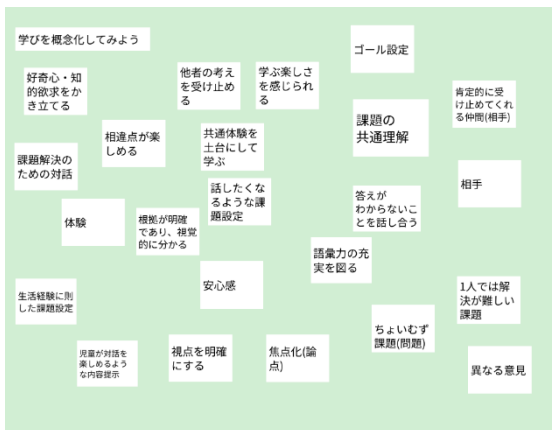


【取組内容④】 共同作業アプリを生かした新たな校内研修のプロセスデザイン

プロセス2：学びのリフレクション



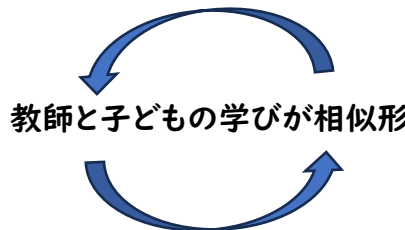
授業のポイントを概念化



授業のポイントを概念化して一斉に書き込むことで整理する



概念化した言葉をキーワードに、対話を通して授業の改善点を考える



改善点を踏まえ、自分の授業を振り返る

戻る		9/26 宮嶋先生の実践を受けての振り返り	
<p>いろいろな経験を出し合い、それを共有する中から課題を設定し、それを自分ごととして解決していくことが大切だと思ふ。いろいろな教員で生活経験を生かした学習を進めていきたい。</p> <p>9月26日(水) 16:33</p>	<p>自分ごとの学びを生活に生かすアンケートを学習やめてに生かすというのをもっと意識的にやっていきたいと思ふ。家庭科は、とても大切な学習だが、なかなか進まない。家庭科の学習を教育活動全体で推進していきたいと思ふ。</p> <p>9月26日(水) 16:34</p>	<p>子供達からの経験をもとに、経験から課題を作る。みんな考えていく。友達の意見から自分の意見を求める。進捗自分に取り入れられることは何かという事で、他の意見を聞くというふうな姿勢を持たせることが大切だと感じた。</p> <p>9月26日(水) 16:35</p>	<p>子どもたちから経験をもとに考えさせて、家庭科が今年まで子どもたちが課題を定めて、自分ごととして学習していくことで、学年が終わった後に応用することを学ばせた。子どもたちの経験や学習内容を振り返りながら学習を進めていくのは難しいですが、これからの授業では自分ごとを生活していきたいです。</p> <p>9月26日(水) 16:35</p>
<p>「見つめる」の場面より振り返りの場面で考えたことや学んだことを必ずアウトプットするようにし、他者の考えから、自分自身から活用できそうかどうかを考えを促せるなどして、「自分だったら」という視点をもった教材も入れていきたい。</p> <p>9月26日(水) 16:36</p>	<p>家庭科だけでなく、「見つめる」場面をどの教科でも取り入れたいと思ふ。その場面でしっかり自分のことを見つめることができれば、その後の学習や生活にも活かしていくことが出来る。でも、その気持ちや「見つめる」を設定するのハードルが高い。授業の進め方にも関係している。また、「見つめる」で終わってしまわないように、振り返りの場面で自分ごととして進めたいと思ふ。</p> <p>9月26日(水) 16:40</p>	<p>①どの教科においても、問題解決学習が大切だと改めて感じた。家庭科も問題解決学習は必要。</p> <p>②P/Fフォーラム課題の捉え方を改めて振り返ることができた。具体的なP/Fフォーラムに基づいていく課題というものがなかったことに、自分という視点も忘れてはいけないと感じた！</p> <p>9月26日(水) 16:41</p>	<p>①どの教科においても、問題解決学習が大切だと改めて感じた。家庭科も問題解決学習は必要。</p> <p>②P/Fフォーラム課題の捉え方を改めて振り返ることができた。具体的なP/Fフォーラムに基づいていく課題というものがなかったことに、自分という視点も忘れてはいけないと感じた！</p> <p>9月26日(水) 16:41</p>
<p>「見つめる」ことで自分ごととして考えようとするきっかけになっていくようにしていくことが大切だが、その楽しさや意義を感じてほしい。また、「アウトプット」の時点で、子どもたちの持つ得意な得意な方法をどう活かせるか、どう伸ばせるか、どうつながるかを、今後につなげていきたい。</p> <p>9月26日(水) 16:41</p>	<p>9/26 振り返り★これからの自分を取り組むこと・授業の課題を設定するためには、児童の授業をベースに考えられるように、児童に促して自分ごとから課題を設定していく。振り返りの時間を授業時間内に取る。</p> <p>9月26日(水) 17:36</p>	<p>自分ごとを「見つめる」場面をつくることで、自分の経験や意見に繋がり、その後の学習や生活に活かすことができる。またそのときに、子どもたちが経験をもとに考えさせていくことで、自分ごととして「見つめる」ことが難しい子どもにも、自分ごとから課題を設定する機会をもちたいと思ふ。他の経験は大切だと思ふ。</p> <p>9月26日(水) 17:36</p>	<p>今回の研修の中で、架空の人物にアドバイスする形だと意見が出やすいと聞いて良かった。宮嶋先生とP/Fフォーラムのやり方や授業を作るという授業作りは私もついに見習ってみたいと思います。</p> <p>9月26日(水) 14:19</p>

振り返りを残すことで、教師の学びをポートフォリオしていく